

奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター（奈良県保健研究センター内） **Nara IDSC**

今週の概要

■ 第 47 週の感染症情報

⊕ 第 47 週の感染症情報（11 月 18 日(月)～11 月 24 日(日)）

奈良県および医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	4.00	→～↑	↑	→～↑	↑
2	RS ウイルス感染症	0.91	→	→	→	↓
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.62	→～↑	→～↑	→～↑	↑
4	水痘	0.59	→～↑	→～↑	→	↑
5	手足口病	0.50	↑	↓	↑↑	↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数（46→47週）は92→128例と推移した。上位5疾患は①感染性胃腸炎（53→72例）、②RS ウイルス感染症（17→14例）、③水痘（9→12例）、④A 群溶連菌咽頭炎（8→10例）、⑤突発性発しん（3→5例）であった。眼科定点の報告は流行性角結膜炎が5例あった。基幹定点の報告はマイコプラズマ肺炎が1例あった。（有山 記）

県中部地区概況 報告数は120例で、前週報告の107例から増加。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②RS ウイルス感染症、③手足口病、④咽頭結膜熱、⑤A 群溶連菌咽頭炎の順。また、インフルエンザ定点からの報告が、桜井 HC 管内より3例あった。RS ウイルス感染症の報告数（17例）は、増加。手足口病の報告数（2→16例）は、急増。咽頭結膜熱の報告数（11例）は、ほぼ倍増。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（10例）は、倍増。感染性胃腸炎の報告数（53例）は、減少。桜井 HC および葛城 HC 両管内基幹定点と眼科定点からの報告は、すべてなかった。（村井 記）

県南部地区概況 報告数（46→47週）は16→14例と推移。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（11→11例）、②A 群溶連菌咽頭炎（0→1例）、②水痘（0→1例）、②手足口病（0→1例）であった。（柳生 記）

なお、第 48 週の週報より、レイアウト、様式等を変更させていただきます。
今後ともよろしくお願い致します。

